



創刊号

平成17年11月1日発行

記念すべき創刊号。表紙は、川根本町役場本庁舎と総合支所で行われた2町合併に関する式典の様子。



50号

平成21年12月1日発行

表紙は消防団操法訓練。特集では大規模災害に対する町の取り組みや備えなどを住民に紹介。



85号

平成24年11月1日発行

紙面にカラーページを採用し、赤石太鼓30周年記念公演会を紹介。たくさんの写真を掲載して見やすい紙面に。



100号

平成26年2月1日発行

創刊100号記念と成人式の特集合併号。新成人に「川根本町の未来」についてインタビュー。また、過去の成人式の特集号の表紙を紹介。



101号

平成26年3月1日発行

広報紙を親しみやすく、読みやすくするためにデザインを一部リニューアル。キャッチコピー「このまちがもっとも〜っと好きになる」が誕生。



120号

平成27年9月17日発行

合併10周年特集号。表紙では過去の広報紙の「笑顔」を紹介。裏表紙では町内小中学校の子どもたちの『こんな町になったらいいな』を連載して紹介。

自分が広報紙に載っていると...。小中学生の頃は「川根本町で何ができるかを意識したことはありませんでしたが、今年で18歳の私は、成人の仲間入りを果たします。豊かな自然と優しい人たちが魅力の川根本町のために、何ができるかを責任と自覚を持って考えていきたい！



1歳の頃の下村さん  
(創刊号掲載)

しもむら けんと  
下村 健斗さん

広報紙で子どもやお年寄りの活躍を見られてうれしいです。あとは子育て世代にとって必要な情報をもっと載っていると良いですね！その世代の活躍をもっと見てみたい！小さな町ならではの広報紙、今後も期待しています！

私も創刊号でインタビューを受けました！

まつおか ひでこ  
松岡 秀子さん

地域には若い世代のチャレンジを応援してくれる人たちがたくさんいます。新しいことを始めたい人と、その挑戦を支えたい人とをつなげるきっかけに広報紙が一役買ってあげればと期待しています。

広報紙で地区ごとのお店の情報が載ってたら便利です！

さわむら としくに  
澤村 季晋さん

皆さんの「笑顔」に  
支えられて届けた「まちの今」

広報かわねほんちょう

創刊 200号



広報の力で魅力発信を

平成17年9月に旧本川根町と旧中川根町の2町が合併し、川根本町が誕生しました。新しい町制が施行されてから約1カ月後の11月1日に「広報かわねほんちょう」は創刊されました。それから皆さんの暮らしとともに歩み続けて、本号で200号を迎え、現在までに地域の話題や町からのお知らせなどを届けてきました。これまでの広報紙を開くと、町の発展だけでなく、皆さんの笑顔や思い、そして活躍をうかがい知ることが出来ます。

広報紙には、町の動きや皆さんに知ってほしい情報などをお知らせする役割があります。その情報が正確に伝わるように分かりやすい文章で、また多くの人に手に取ってもらえるよう写真やイラストを使いながら、親しみやすい紙面作りを心掛けてきました。これからも、町の良いところや頑張っている人を紹介しながら、皆さんがこの町をもっと好きになり、この町に住んでいて良かったと思えるような魅力あふれる「広報かわねほんちょう」をお届けします。

創刊から200号を迎える